

# 漁海況情報第5報 (2014年8月7日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

## 1. 海況

### 本県の表面水温は前月に引き続き平年よりも高めとなっています。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は 21～26℃台となっており、前月に引き続き平年よりも高めとなっております。仙台湾では平年より概ね 1～2℃高く、38° 30′ N の 142° 30′ E 付近では平年より 4℃高めとなっております。

100m深水温は 6～12℃台となっております。平年と比較すると、142° 10′ E 以西で平年より 0～3℃低め、142° 10′ E 以東では平年より 0～4℃高めとなっております [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

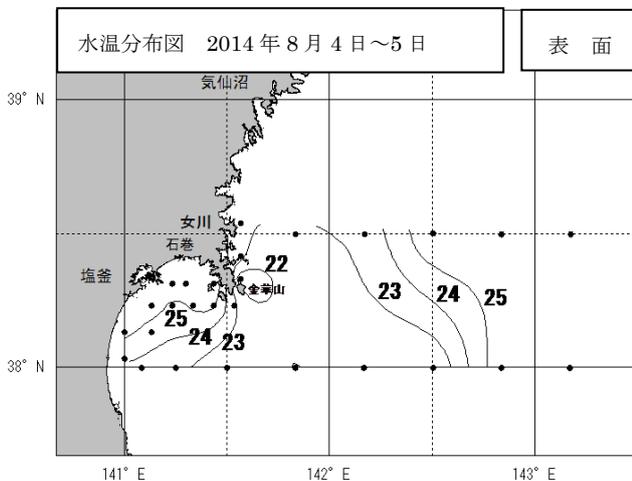
水温鉛直断面図をみると、表層付近が昇温して水温成層が形成されています [P2. 水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報 (表面水温) によると、三陸沖を暖水が強勢に北上し、一方、三陸～金華山～鹿島灘の沿岸を津軽暖流と親潮の混合水が南下しているのがわかります [P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

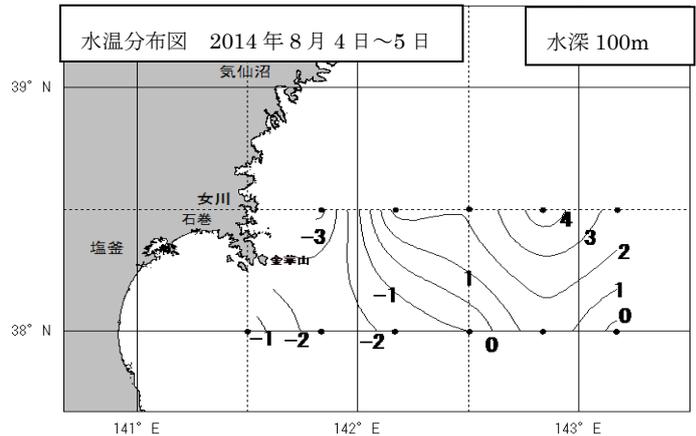
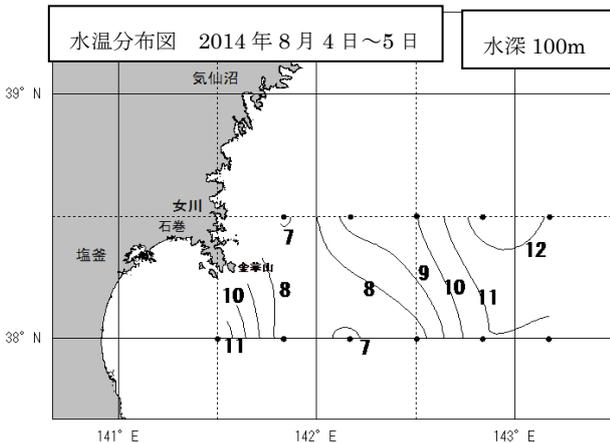
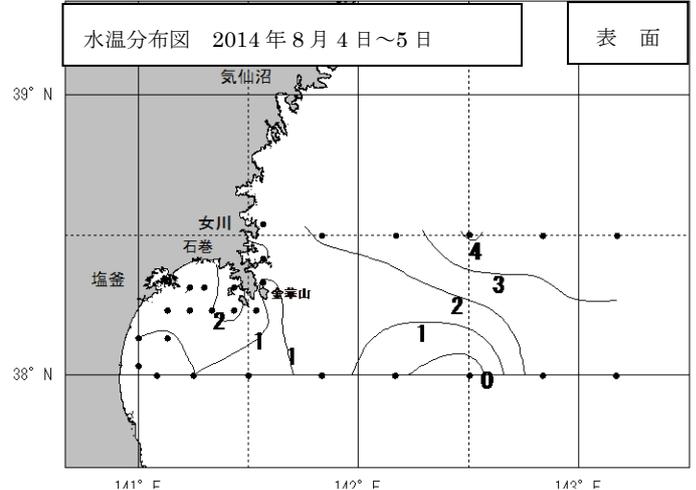
7月下旬の定地水温は 19～24℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼(杉ノ下)及び江島が「やや高い」で、佐須浜が「平年並み」となっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、5～16℃台と概ね前年並みです [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図



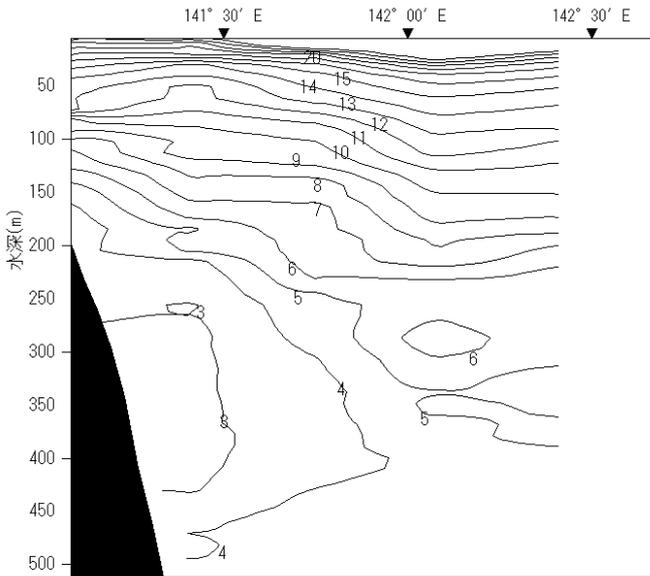
・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)



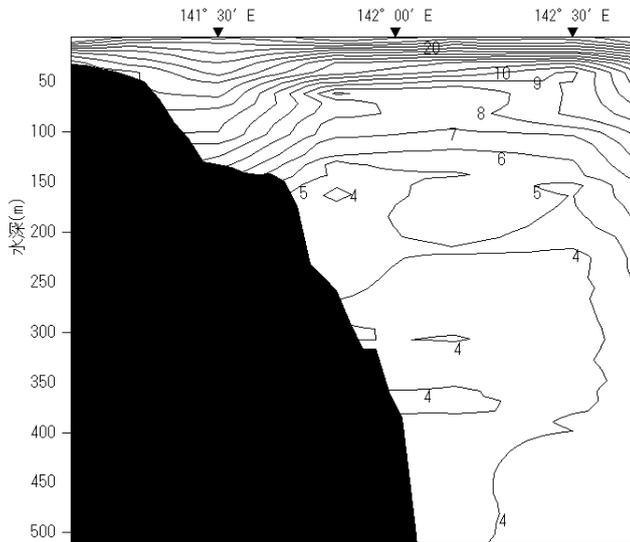
※海洋観測はみやしおと開洋が実施しました。

・水温鉛直断面図

38° 30' N ライン(雄勝沖合ライン)

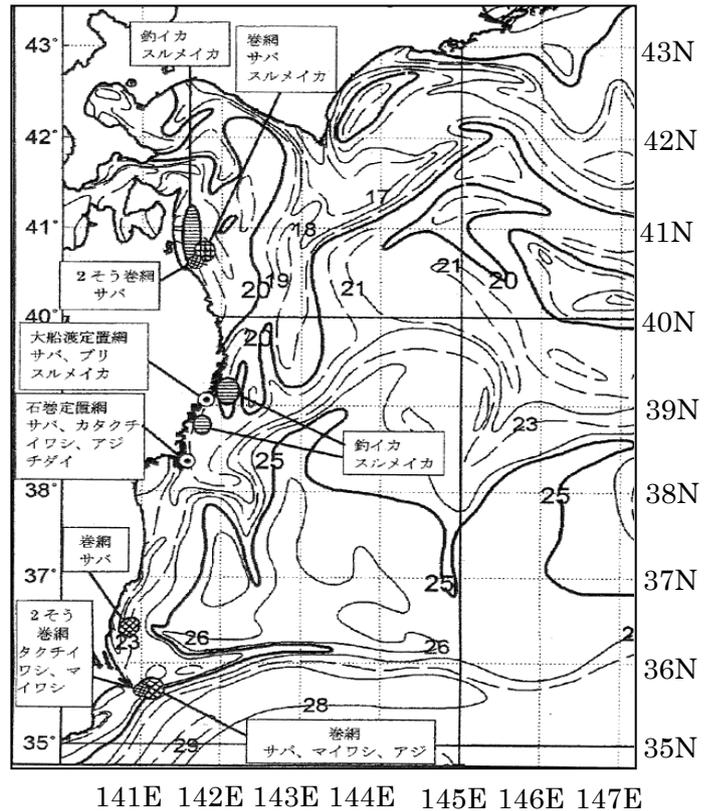


38° N ライン(亶理沖合ライン)



2014年8月4日の東北海域の海況(表面水温)

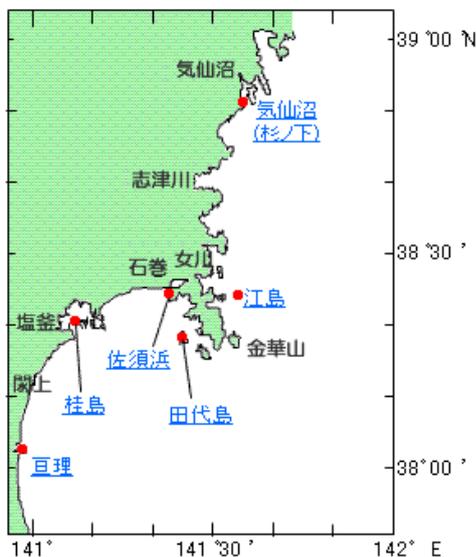
(一社) 漁業情報サービスセンター



**特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター**  
**(8月4日表面水温)**

- ・黒潮は犬吠崎東 30 海里を東北東へ進み、三陸沖を暖水が強勢に北上中だが、20°C先端は 42° N 付近で停滞。
- ・津軽暖流が張り出して下北～三陸北部は 20～21°C 台に昇温。
- ・三陸～金華山～鹿島灘の沿岸を津軽暖流と親潮の混合水が南下。
- ・大船渡～金華山 20～21°C 台。仙台湾 22～24°C 台。

・定地海洋観測



観測点	7月下旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	20.5 °C やや高い	1.5 °C	1.3 °C
江島	19.8 °C やや高い	1.3 °C	0.9 °C
佐須浜	23.2 °C 平年並み	0.3 °C	1.9 °C
桂島	24.7 °C -	-	2.0 °C
亶理	24.1 °C -	-	2.3 °C

※田代島は自動観測装置による観測を中断しています。  
 ※江島の自動観測装置は7月23日に復旧しました。  
 ※平年差 岩井崎, 江島 (30年)  
 佐須浜 (10年)  
 桂島 (平成24年2月から観測開始)  
 亶理 (平成24年10月から観測開始)

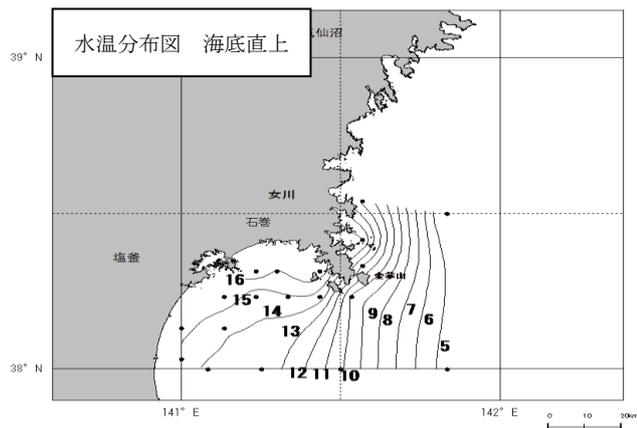
※最新の定地海洋観測結果は、

「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/kaivou/201408suion-index.html>」

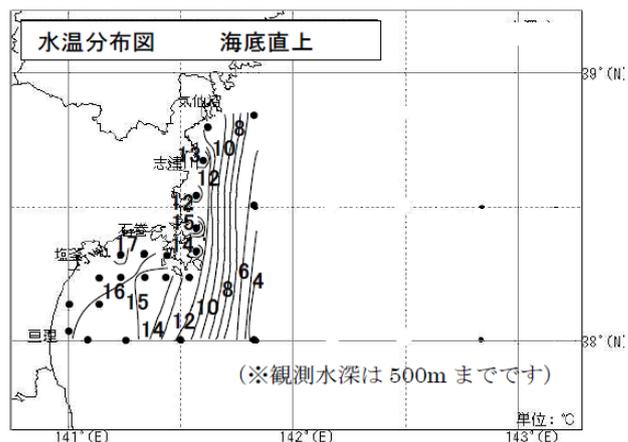
でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2014年8月4日~5日)

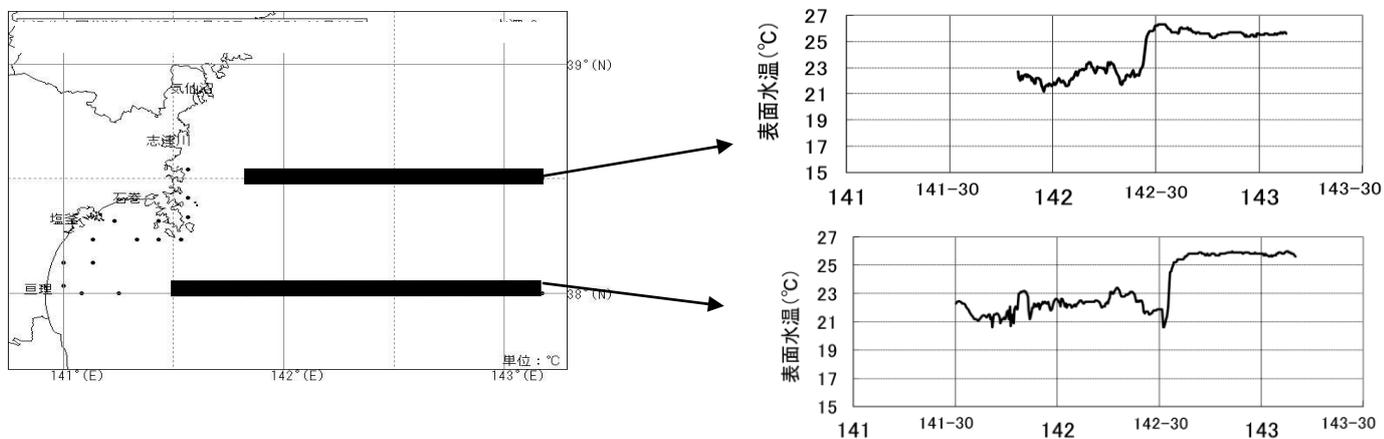


・前年同期海底直上水温(2013年8月1日~7日)



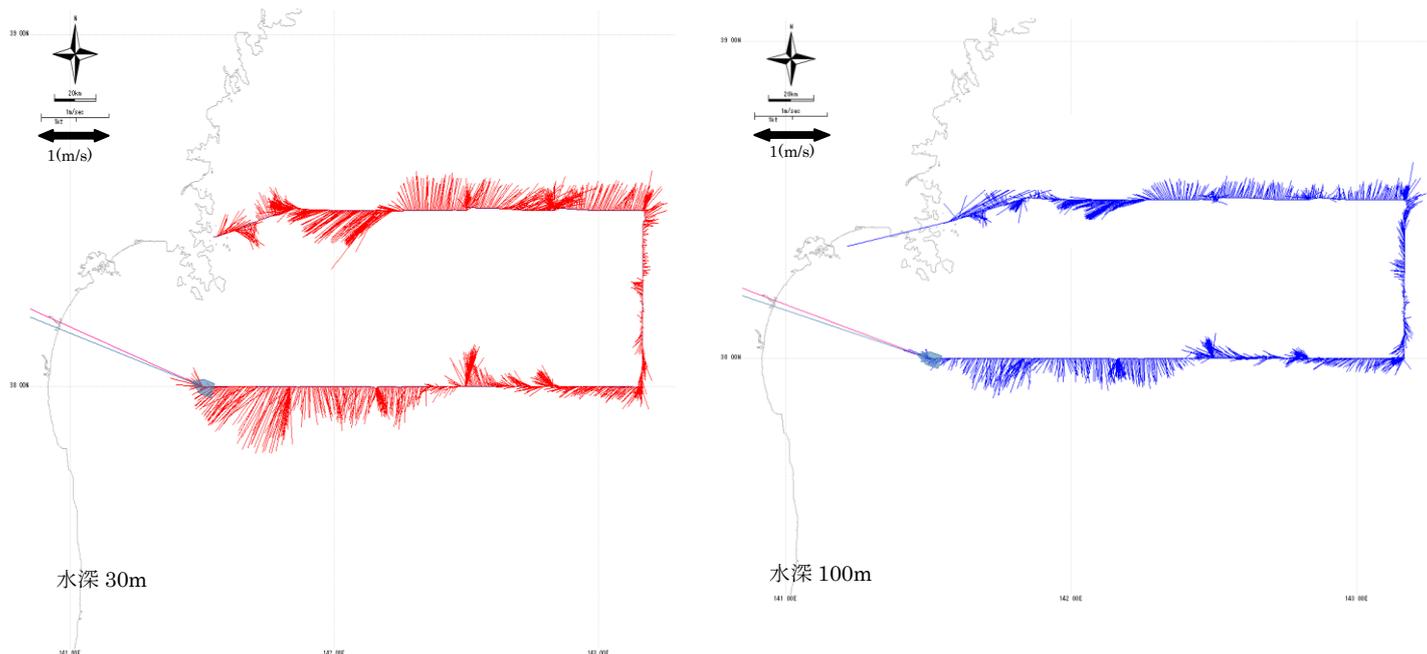
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 30m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておられません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しております。

#### 4. 漁況

平成26年7月の水揚量を見ると、前年比でビンナガ、メバチマグロ(ダルマ含む)、サバ類、ヤリイカ、マダラ、スケトウダラ、キアンコウ、ヒラメ、マガレイ、ババガレイの水揚げが多くなっています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成26年7月1日~7月30日)

魚種	単位:トン										
	沖底	小底	旋網	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年比
カツオ			10,483	1,893	0	0		0	12	12,388	79%
ビンナガ			839	2,553				133	1	3,526	226%
クロマグロ(メジ含む)			0		2				5	7	3%
メバチマグロ(ダルマ含む)			367	554				18	41	980	202%
マイワシ		0	281		3				50	335	16%
カタクチイワシ					508				12	520	50%
さば類	19	0	1,540	0	1,147	0			6	2,712	242%
ブリ	1				382	0			8	391	63%
マアジ	0	0	2		128	0			3	132	104%
サワラ					0			1	0	2	31%
スルメイカ	3	1			30		7		0	41	110%
ヤリイカ	0	0			2				0	2	3215%
マダラ	11	1			49	18			409	488	239%
スケトウダラ	1	0			0	0			19	21	478%
キチジ								0	0	1	18%
キアンコウ	0	7			3	2			4	16	371%
マアナゴ		8			0	0			78	87	103%
ヒラメ		93			23	130			69	315	165%
マコガレイ		8			0	10			4	21	114%
マガレイ		37				8			0	45	323%
サメガレイ									0	0	5%
ババガレイ	0	0			0	0			0	2	123%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す

平成26年上半期の水揚量を見ると、前年比でカツオ、クロマグロ(メジ含む)、さば類、ブリ、サワラ、ヤリイカ、キアンコウ、ヒラメ及びババガレイの水揚げが多くなっています。

平成26年上半期 主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成26年1月1日~6月30日)

魚種	単位:トン										
	沖底	小底	旋網	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年比
カツオ			5,198	165				1	19	5,383	135%
ビンナガ			251	1,644				1,108	130	3,133	48%
クロマグロ(メジ含む)			165		110	0		1	55	332	229%
メバチマグロ(ダルマ含む)			164	57				371	326	918	89%
マイワシ	2	0	3,307		1,074	0			16	4,399	44%
カタクチイワシ					1,197				126	1,323	44%
さば類	301	12	15,331		1,751	0			18	17,413	803%
ブリ	0	0			464	7		0	32	503	209%
マアジ	92	34	0		56	0			9	191	50%
サワラ	0				209	0		5	1	215	471%
スルメイカ	395	2			132		7		14	550	73%
ヤリイカ	242	9			71	0	1		7	330	211%
マダラ	6,742	444			480	746		12	1,434	9,860	101%
スケトウダラ	2,514	24			0	1		0	4	2,543	45%
キチジ	60							0	7	67	68%
キアンコウ	167	30			33	9		0	28	267	365%
マアナゴ	10	8			0	1			59	79	87%
ヒラメ	125	105			39	196		0	108	573	208%
マコガレイ	13	29			1	46			33	122	95%
マガレイ	13	55			0	28			2	98	98%
サメガレイ	60	0			0	0			10	70	79%
ババガレイ	311	3			0	8		0	19	341	264%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

#### 5. 調査船運航計画

みやしお	
8月19日 ~ 8月22日	イカ漁場一斉調査
開 洋	
8月19日	ヒラメ着底稚魚調査